



Health メニューの使い方

この章では、Element Manager の Health メニューで実行できる作業について説明します。内容は次のとおりです。

- [Health サマリーの表示 \(p.6-2\)](#)
- [電源モジュールの状態の表示 \(p.6-3\)](#)
- [ファンの状態の表示 \(p.6-4\)](#)
- [センサーの状態の表示 \(p.6-5\)](#)
- [サーバスイッチのイベントの表示と管理 \(p.6-6\)](#)
- [トラップレシーバーの設定 \(p.6-8\)](#)
- [認証エラーの表示と認証トラップのイネーブル化 \(p.6-10\)](#)
- [ログの表示とフィルタリング \(p.6-11\)](#)



(注)

Health メニューには、サーバスイッチの状態を確認できるオプションがあります。Health メニューのオプションを使用すると、Month Day, Year の動作状態やサーバスイッチのイベントのログを表示できます。

Health サマリーの表示

サーバスイッチの Health サマリーを表示するには、次の手順を行います。

ステップ 1 Health メニューから **Status** を選択します。

Health Status ウィンドウが開きます。

ステップ 2 **Summary** タブをクリックします。

Summary タブの各フィールドについては、[表 6-1](#) を参照してください。

表 6-1 Summary タブのフィールド

フィールド	説明
Up Time	最後のリブート後のスイッチの稼働時間
Power	すべての電源モジュールが正常に機能していれば、緑色のチェックが表示されます。電源モジュールに問題があると、赤色の X が表示されます。
Fans	すべてのファンが正常に機能していれば、緑色のチェックが表示されます。ファンに問題があると、赤色の X が表示されます。
Sensors	すべての温度センサーが正常に機能していれば、緑色のチェックが表示されます。温度センサーに問題がある場合、または温度が安全しきい値を超えている場合は、赤色の X が表示されます。

電源モジュールの状態の表示

サーバスイッチの電源モジュールの状態を表示するには、次の手順を行います。

ステップ 1 Health メニューから **Status** を選択します。

Health Status ウィンドウが開きます。

ステップ 2 **Power Supplies** タブをクリックします。

Power Supplies タブの各フィールドについては、[表 6-2](#) を参照してください。

表 6-2 Power Supplies タブのフィールド

フィールド	説明
PS ID	電源モジュールの識別番号。ご使用のデバイスの電源モジュールについての詳細は、ハードウェア マニュアルを参照してください。
Type	電源のタイプ (AC または DC)
Admin Status	ユーザによる電源モジュールの設定状態が表示されます。
Oper Status	up が表示されていれば、電源モジュールは正常に機能し、現在デバイスに電力を供給しています。電源モジュールに障害が発生している場合は down が表示されます。
Utilization	電源モジュールの使用率 (パーセンテージ)
Voltage	電源モジュールの電圧
Product Serial Number	出荷前に割り当てられた製品シリアル番号
PCA Serial Number	PCA シリアル番号
PCA Assembly Number	PCA アセンブリ番号
FRU Number	Field-Replaceable Unit (FRU; 現場交換可能ユニット) 番号

ファンの状態の表示

サーバスイッチのファンの状態を表示するには、次の手順を行います。

ステップ 1 Health メニューから **Status** を選択します。

Health Status ウィンドウが開きます。

ステップ 2 **Fans** タブをクリックします。

Fans タブの各フィールドについては、[表 6-3](#) を参照してください。

表 6-3 Fans タブのフィールド

フィールド	説明
FanId	ファンの識別番号。ご使用のデバイスのファンについての詳細は、ハードウェア マニュアルを参照してください。
OperStatus	ファンが正常に機能していれば、 up が表示されます。そうでなければ、 down が表示されます。
Speed	ファンの速度（最大速度のパーセンテージ）
ProductSerialNum	出荷前に割り当てられた製品シリアル番号
PcaSerialNum	PCA シリアル番号
PcaAssemblyNum	PCA アセンブリ番号
FruNum	FRU 番号

センサーの状態の表示

サーバスイッチの温度センサーの状態を表示するには、次の手順を行います。

ステップ 1 Health メニューから **Status** を選択します。

Health Status ウィンドウが開きます。

ステップ 2 **Sensors** タブをクリックします。

Sensors タブの各フィールドについては、表 6-4 を参照してください。

表 6-4 Sensors タブのフィールド

フィールド	説明
Slot ID	温度センサーが搭載されているスロットの識別番号。ご使用のデバイスのスロットについての詳細は、ハードウェア マニュアルを参照してください。
Sensor ID	温度センサーの識別番号
Oper Status	センサーの動作コード。値は、normal、tempAlert、currAlert、または voltAlert です。
Oper Code	スロットの温度
Current Temp	シャーシの現在の温度
Alarm Temp	アラームが発生するシャーシ温度
Shutdown Temp	シャットダウンが発生するシャーシ温度

サーバスイッチのイベントの表示と管理

ここでは、サーバスイッチのイベントの表示および管理方法を説明します。

- [サーバスイッチのイベントの表示 \(p.6-6\)](#)
- [テキストファイルへのイベント ログのエクスポート \(p.6-7\)](#)
- [カテゴリ別のイベント エントリのクリア \(p.6-7\)](#)
- [すべてのイベント エントリのクリア \(p.6-7\)](#)

サーバスイッチのイベントの表示

サーバスイッチ イベントを受信するローカル ホストを設定すると、イベントのログを表示できます。サーバスイッチ イベントを表示する前に、「[トラップ レシーバーとしてのホストの設定](#)」(p.6-8)を参照してください。

イベントの受信を設定したホストでサーバスイッチのイベントを表示するには、次の手順を行います。

ステップ 1 Health メニューから **Event Viewer** を選択します。

Event Viewer ウィンドウが開きます。このウィンドウのフィールドについては、[表 6-5](#) を参照してください。

ステップ 2 (任意) **Node** カラム ヘッダーをクリックして、ノード別の Event Viewer テーブルを編集します。このヘッダーをもう一度クリックすると、表示順序 (上下) が逆転します。

ステップ 3 (任意) **Time** カラム ヘッダーをクリックして、ノード別の Event Viewer テーブルを編集します。このヘッダーをもう一度クリックすると、表示順序 (上下) が逆転します。

ステップ 4 (任意) **Type** カラム ヘッダーをクリックして、ノード別の Event Viewer テーブルを編集します。このヘッダーをもう一度クリックすると、表示順序 (上下) が逆転します。

ステップ 5 (任意) **Description** カラム ヘッダーをクリックして、ノード別の Event Viewer テーブルを編集します。このヘッダーをもう一度クリックすると、表示順序 (上下) が逆転します。

表 6-5 Event Viewer のフィールド

フィールド	説明
Node	イベントが発生したサーバスイッチの IP アドレス
Time	イベントが発生した時刻
Type	発生したイベントのタイプ
Description	イベントの説明

テキスト ファイルへのイベント ログのエクスポート

イベント ログをエクスポートするには、次の手順を行います。

ステップ 1 Health メニューから **Event Viewer** を選択します。

Event Viewer ウィンドウが開きます。

ステップ 2 **Export** をクリックします。

Save ウィンドウが開きます。

ステップ 3 イベント ログを保存するローカル ホスト上のディレクトリに移動します。

ステップ 4 File Name フィールドにログのファイル名を入力してから、**Save** をクリックします。

ホスト上のイベント ログを内容とするテキスト ファイルが作成されます。

カテゴリ別のイベント エントリのクリア

Event Viewer テーブルからイベント エントリを削除するには、次の手順を行います。

ステップ 1 Health メニューから **Event Viewer** を選択します。

Event Viewer ウィンドウが開きます。

ステップ 2 **Clear** をクリックし、テーブルから削除するエントリのタイプをクリックします。

そのタイプのすべてのエントリが画面から消えます。

すべてのイベント エントリのクリア

Event Viewer テーブルからすべてのイベント エントリを削除するには、次の手順を行います。

ステップ 1 Health メニューから **Event Viewer** を選択します。

Event Viewer ウィンドウが開きます。

ステップ 2 **Clear** をクリックし、**All** をクリックします。

すべてのイベント エントリが画面から消えます。

トラップ レシーバーの設定

ここでは、トラップ レシーバーとしてのホストの設定方法について説明します。

- [トラップ レシーバーとしてのホストの確認 \(p.6-8\)](#)
- [トラップ レシーバーとしてのホストの設定 \(p.6-8\)](#)
- [トラップ レシーバーとしてのホストの削除 \(p.6-9\)](#)

トラップ レシーバーとしてのホストの確認

イベントを表示するためには、トラップを受信するホストを設定する必要があります。ローカル ホスト上に、ポート 162 を制御するアプリケーションがほかになければ、Element Manager が自動的にローカル ホストをトラップ レシーバーとして登録します。Element Manager によってホストが登録されているかどうかを確認するには、次の手順を行います。

ステップ 1 Health メニューから **Trap Receivers** を選択します。

Trap Receivers ウィンドウが開きます。

ステップ 2 Address カラムにホストの IP アドレスが表示されているかどうか確認します。

ステップ 3 表示されていれば、Receive Events カラムに **true** が表示されていることを確認します。



(注) ローカル ホストに複数の IP アドレスがある場合 (たとえば、LAN に 1 つ、無線接続に 1 つなど) は、LAN アドレス以外のすべての IP アドレスをディセーブルにしてから、Element Manager を閉じ、再度開きます。Trap Receivers ウィンドウに LAN アドレスだけが表示されていることを確認します。表示されていれば、別のアドレスをイネーブルにできます。

トラップ レシーバーとしてのホストの設定

Element Manager のほかに、ポート 162 の制御を得て SNMP トラップの受信と管理を行うアプリケーションがある場合は、そのアプリケーションがサーバ スイッチ トラップを受信できるように、Element Manager を使用してサーバ スイッチにホストを追加しなければなりません。トラップ レシーバーとしてホストを追加するには、次の手順を行います。

ステップ 1 Health メニューから **Trap Receivers** を選択します。

Trap Receivers ウィンドウが開きます。

ステップ 2 **Insert** をクリックします。

Insert Trap Receivers ウィンドウが開きます。

ステップ 3 Address フィールドに、ホストの IP アドレスを入力します。

ステップ 4 Community フィールドに、ホストの SNMP コミュニティを入力します。

ステップ 5 **Receive Events** チェック ボックスをオンにしてから、**Insert** をクリックします。

トラップ レシーバーとしてのホストの削除

トラップ レシーバーとして手動でホストを設定した場合、そのホストの登録を解除するには、手動でホストを削除する必要があります。トラップ レシーバーのホストを削除するには、次の手順を行います。

ステップ 1 Health メニューから **Trap Receivers** を選択します。

Trap Receivers ウィンドウが開きます。

ステップ 2 Trap Receivers テーブルでそのホストをクリックし、**Delete** をクリックします。

ステップ 3 **Close** をクリックします。

認証エラーの表示と認証トラップのイネーブル化

ここでは、認証エラーの表示方法と、認証トラップをイネーブルにする方法を説明します。

- 認証エラーの表示 (p.6-10)
- 認証トラップのイネーブル化 (p.6-10)

認証エラーの表示

認証エラーを表示するには、Health メニューから **Authentication** を選択します。

Authentication ウィンドウが表示されます。表 6-6 に、このウィンドウのフィールドを示します。

表 6-6 Authentication ウィンドウのフィールド

フィールド	説明
Enable Authentication Traps	オプション ボタンによって、認証トラップをイネーブルおよびディセーブルにします。
CLI Access Violation Count	CLI アクセス違反数
CLI Last Violation Time	最新の CLI アクセス違反の時刻
SNMP Access Violation Count	SNMP アクセス違反数
SNMP Last Violation Time	最新の SNMP アクセス違反の時刻
HTTP Access Violation Count	HTTP アクセス違反数
HTTP Last Violation Time	最新の HTTP アクセス違反の時刻

認証トラップのイネーブル化

認証トラップをイネーブルにするには、次の手順を行います。

-
- ステップ 1** Health メニューから **Authentication** を選択します。
- Authentication ウィンドウが開きます。
- ステップ 2** **enabled** オプション ボタンをクリックしてから、**Apply** をクリックします。
-

ログの表示とフィルタリング

ここでは、ログの表示方法とフィルタリング方法について説明します。

- [ログの表示 \(p.6-11\)](#)
- [ts_log 画面へのフィルタの適用 \(p.6-11\)](#)

ログの表示

サーバスイッチのファイル システム内のログの 1 つを表示するには、次の手順を行います。

-
- ステップ 1** Health メニューから **Log Viewer** を選択します。
- Log Viewer ウィンドウが開きます。
- ステップ 2** **Download** をクリックします。
- Download Log Files ウィンドウが開きます。
- ステップ 3** Available log files テーブルで、表示したいログをクリックしてから、**Download** をクリックします。
- Save As ウィンドウが開きます。
- ステップ 4** ログ ファイルを保存したいディレクトリに移動し、**Save** をクリックします。
- Download Complete ウィンドウが開き、Open File チェック ボックスが表示されます。
- ステップ 5** **Open File** チェック ボックスをオンにして、**OK** をクリックします。
- Log Viewer ウィンドウにログが開きます。
-

ts_log 画面へのフィルタの適用

フィルタを設定し、適用すると、Element Manager はフィルタ基準に一致しないエントリすべてを画面から削除します。ログ画面から特定のエントリをフィルタリングするには、次の手順を行います。

-
- ステップ 1** Health メニューから **Log Viewer** を選択します。
- Log Viewer ウィンドウが開きます。
- ステップ 2** ts_log ファイルを開きます。手順の詳細については、「[ログの表示とフィルタリング \(p.6-11\)](#)」を参照してください。
- ステップ 3** **Filter** をクリックします。
- Log Filter ウィンドウが開きます。

ステップ 4 適用したいフィルタ属性を選択します。

- すべてのフィルタ オプションは累積されます。スロット 1 と WARN を選択すると、Log Viewer にはスロット 1 に該当し、WARN タイプであるログだけが表示されます。スロット 1 に該当しない WARN タイプのメッセージは表示されません。スロット 1 のほかのタイプのメッセージも表示されません。
- **Show Advanced** をクリックすると、フィルタに追加できるアプリケーション オプションが表示されます。フィルタに適用するアプリケーションをクリックします。**Ctrl** キーを押しながら、追加するアプリケーションをクリックすると、複数のアプリケーションがフィルタに適用されます。

ステップ 5 **Apply** をクリックします。

フィルタと一致しないエントリはすべて画面から消えます。
